

## 平成22年2月期 第1四半期決算短信(非連結)

平成21年7月14日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 東天紅  
 コード番号 8181 URL <http://www.totenko.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成21年7月15日  
 配当支払開始予定日 —

(氏名) 小泉 和久  
 (氏名) 山崎 信行

TEL 03-3828-6272

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成22年2月期第1四半期の業績(平成21年3月1日～平成21年5月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年2月期第1四半期	1,857	—	8	—	△1	—	6	—
21年2月期第1四半期	2,011	△0.4	66	△31.2	49	△40.1	2	△97.3

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年2月期第1四半期	0.25	—
21年2月期第1四半期	0.08	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年2月期第1四半期	13,998	10,000	71.4	389.18
21年2月期	13,864	9,951	71.8	387.24

(参考) 自己資本 22年2月期第1四半期 10,000百万円 21年2月期 9,951百万円

### 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
22年2月期	—	—	—	—	—
22年2月期(予想)	—	0.00	—	2.00	2.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

### 3. 平成22年2月期の業績予想(平成21年3月1日～平成22年2月28日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期累計期間	3,450	—	△100	—	△120	—	△150	—	△5.84
通期	7,500	0.6	50	—	0	—	0	—	0.00

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

#### 4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

〔注〕詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。〕

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

〔注〕詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。〕

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年2月期第1四半期 25,728,716株 21年2月期 25,728,716株

② 期末自己株式数 22年2月期第1四半期 31,366株 21年2月期 30,777株

③ 期中平均株式数(四半期累計期間) 22年2月期第1四半期 25,697,497株 21年2月期第1四半期 25,700,054株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

・上記に記載した予想数値は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって上記予想数値と異なる可能性があります。

## ・ 定性的情報・財務諸表等

## 1. 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期会計期間におけるわが国経済は、世界的な経済不況の影響を受け、急激な生産調整や設備投資の抑制により、企業収益は大きく落ち込み、また、雇用情勢と所得環境の悪化による先行き不透明感から、個人消費は一層冷え込むなど厳しい状況で推移しております。

当社は、こうした状況のもとで、「営業力強化による黒字確保」を目指して諸活動に取り組んでまいりました。

まず、改装実施店舗である「大阪天満橋OMM店」「オペラシティ」「横浜店」「名古屋店」「神戸三宮・センタープラザ店」をはじめ、全店舗においてセールスを徹底的に実施、当社主力の宴会部門の強化を図ってまいりました。

次に、「上野店」の婚礼「LUCIS」(ルーキス)に加え、「大阪天満橋OMM店」の婚礼「Cœur et Cœur(クーレール)」、「オペラシティ」の婚礼「LA VIE CLAIR(ラビクレール)」の本格稼働に全力を傾注し、婚礼部門の強化を図りました。

また、ご来店いただいたお客様にご満足いただき、リピーター、さらには当社のファンになっていただくため、お客様満足度の徹底的追求と向上を図ってまいりました。

しかしながら、宴会需要の低迷をカバーすることはできず、当第1四半期会計期間の売上高は前年同期比7.6%減の18億5,771万円となりました。営業利益は前年同期比86.8%減の877万円、経常損失は141万円(前年同期は経常利益4,957万円)、四半期純利益は前年同期比214.5%増の643万円となりました。

今後は、7月初めにリニューアルオープンした海燕亭上野店の本格稼働に注力すると共に、9月には、上野店の3階並びに5階を改装し、ウエディングデスク、ドレスサロン並びにブライズルームを導入し、婚礼「LUCIS」の予約受注を強化してまいります。

なお、全社員による一層のセールス強化を図り、売上の確保に邁進してまいります。

※前年同期比は、参考として記載しております。

## 2. 財政状態に関する定性的情報

## (資産・負債及び純資産の状況)

当第1四半期会計期間末における総資産は、前年度末に比べ1億3,367万円増加いたしました。

これは主に、現金及び預金が税引前四半期純利益の計上等により1億2,647万円増加し、流動資産は前期末に比べ1億5,807万円増加となりました。固定資産は有形固定資産の償却等により7,528万円減少、投資有価証券は一部を売却したものの時価の上昇により5,594万円増加したこと等により、前期末に比べ2,440万円減少したこと等によります。

負債は、前年度末にくらべ8,412万円増加いたしました。これは主に、買掛金が売上の変動による3,717万円の増加及び投資有価証券の増加による繰延税金負債が2,930万円増加したこと等によります。

純資産は、前年度末に比べ4,955万円増加いたしました。これは主に、四半期純利益643万円の計上、その他有価証券評価差額金が4,287万円増加したこと等によります。

## (キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期会計期間末の現金及び同等物(以下「資金」という。)は4億9,811万円となり、前事業年度末と比較して1億2,647万円の増加となりました。

これは税引前四半期純利益982万円の計上(前事業年度末は税引前当期純損失2億7,625万円)及び投資有価証券の売却等によるものであります。

当第1四半期会計期間末における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

営業活動の結果得られた資金は1億2,019万円となりました。これは主に税引前四半期純利益及び減価償却費の計上等によるものであります。

投資活動により得られた資金は1,502万円となりました。これは主に投資有価証券の売却によるものであります。

財務活動により使用した資金は874万円となりました。これは主に借入金の返済によるものであります。

### 3. 業績予想に関する定性的情報

第2四半期及び通期の業績予想につきましては、本日(平成21年7月14日)公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

### 4. その他

#### (1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

##### 1. 簡便な会計処理

###### ① 固定資産の減価償却費の算定方法。

固定資産の減価償却費の算定方法は、定率法を採用しているものについて事業年度に係る減価償却費の額を期間案分する方法としております。

###### ② 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前事業年度末以降に経営環境等に著しい変化が認められないことから、前事業年度において使用した将来の業績予測等を利用する方法によっております。

##### 2. 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

#### (2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

##### ① 四半期財務諸表に関する会計基準の適用

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

##### ② 棚卸資産の評価に関する会計基準の適用

通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、最終仕入原価法による原価法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日公表分)が適用されたことに伴い、最終仕入原価法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しております。これによる当第1四半期会計期間の営業利益、経常損失及び税引前四半期純利益に与える影響額はありません。

(追加情報)

当社は、平成21年5月28日開催の定時株主総会終結の日をもって役員退職慰労金制度を廃止し、制度廃止日までの在任期間を対象とする退職慰労金を打ち切り支給すること、並びに打ち切り支給の時期については、各取締役及び各監査役の退任時とすることとしました。これに伴い、制度廃止日までに計上されていた役員退職慰労金156百万円は、「長期未払金」に振り替えて表示しております。

5. 【四半期財務諸表】  
 (1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成21年5月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	498,117	371,642
売掛金	295,120	250,923
商品及び製品	10,173	5,543
原材料及び貯蔵品	59,599	69,650
その他	113,928	121,098
貸倒引当金	△300	△300
流動資産合計	976,639	818,559
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,987,053	2,029,941
土地	7,893,337	7,893,337
その他(純額)	449,157	481,551
有形固定資産合計	10,329,549	10,404,831
無形固定資産	71,654	75,948
投資その他の資産		
差入保証金	2,080,272	2,081,304
投資有価証券	256,692	200,742
その他	284,177	283,920
貸倒引当金	△600	△600
投資その他の資産合計	2,620,542	2,565,366
固定資産合計	13,021,745	13,046,145
資産合計	13,998,385	13,864,705
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	167,122	129,944
短期借入金	1,428,500	1,326,000
未払法人税等	13,138	39,066
賞与引当金	119,800	71,833
その他	395,471	388,350
流動負債合計	2,124,032	1,955,194
固定負債		
長期借入金	724,375	833,375
繰延税金負債	45,798	16,494
再評価に係る繰延税金負債	400,622	400,622
退職給付引当金	457,119	464,426
役員退職慰労引当金	—	154,285
長期未払金	156,893	—
その他	88,658	88,973

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成21年5月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年2月28日)
固定負債合計	1,873,466	1,958,178
負債合計	3,997,498	3,913,372
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,572,092	2,572,092
資本剰余金	6,561,688	6,561,688
利益剰余金	1,617,766	1,611,335
自己株式	△7,789	△7,723
株主資本合計	10,743,757	10,737,392
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	67,005	24,132
繰延ヘッジ損益	△4,134	△4,449
土地再評価差額金	△805,742	△805,742
評価・換算差額等合計	△742,871	△786,059
純資産合計	10,000,886	9,951,332
負債純資産合計	13,998,385	13,864,705

(2)【四半期損益計算書】  
【第1四半期累計期間】

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年5月31日)
売上高	1,857,713
売上原価	837,080
売上総利益	1,020,632
販売費及び一般管理費	1,011,859
営業利益	8,773
営業外収益	
未回収商品券受入益	625
受取保険料	1,187
その他	901
営業外収益合計	2,713
営業外費用	
支払利息	10,539
その他	2,360
営業外費用合計	12,900
経常損失(△)	△1,413
特別利益	
投資有価証券売却益	11,420
特別利益合計	11,420
特別損失	
固定資産除却損	178
特別損失合計	178
税引前四半期純利益	9,829
法人税、住民税及び事業税	3,398
法人税等調整額	—
法人税等合計	3,398
四半期純利益	6,431



## (3) 【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年5月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税引前四半期純利益	9,829
減価償却費	88,624
賞与引当金の増減額(△は減少)	47,966
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△7,307
受取利息及び受取配当金	0
支払利息	10,539
固定資産除却損	61
投資有価証券売却損益(△は益)	△11,420
売上債権の増減額(△は増加)	△44,196
たな卸資産の増減額(△は増加)	5,421
仕入債務の増減額(△は減少)	37,177
未払金の増減額(△は減少)	△11,143
その他	27,305
小計	152,858
利息及び配当金の受取額	0
利息の支払額	△11,571
法人税等の支払額	△21,095
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>120,191</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	△9,110
投資有価証券の売却による収入	23,562
差入保証金の差入による支出	△480
差入保証金の回収による収入	1,512
その他	△454
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>15,029</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
短期借入金の純増減額(△は減少)	90,000
長期借入金の返済による支出	△96,500
自己株式の取得による支出	△66
配当金の支払額	△79
その他	△2,100
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△8,745</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	126,475
現金及び現金同等物の期首残高	371,642
現金及び現金同等物の四半期末残高	498,117

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報

当第1四半期累計期間(自平成21年3月1日 至平成21年5月31日)

業 態 別	金 額 (千円)
中 国 料 理	1,686,193
日 本 料 理	137,824
そ の 他	33,695
合 計	1,857,713

## 「参考」

前四半期に係る財務諸表等

## (1) (要約) 四半期損益計算書

前第1四半期累計期間 (自平成20年3月1日 至平成20年5月31日)

科 目	前年同四半期 (平成21年2月期 第1四半期末)
	金 額 (千円)
I 売上高	2,011,256
II 売上原価	898,883
売上総利益	1,112,373
III 販売費及び一般管理費	1,046,084
営業利益	66,288
IV 営業外収益	818
1 貸貸料	221
2 その他	596
V 営業外費用	17,531
1 支払利息	11,992
2 その他	5,538
経常利益	49,576
VI 特別利益	—
VII 特別損失	41,917
固定資産除却損	41,917
税引前四半期純利益	7,658
法人税、住民税及び事業税	5,613
四半期純利益	2,045

## (2) (要約) キャッシュ・フロー計算書

前第1四半期累計期間 (自平成20年3月1日 至平成20年5月31日)

	前年同四半期 (平成21年2月期 第1四半期末)
区 分	金 額 (千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
1 税引前四半期(当期)純利益	7,658
2 減価償却費	66,987
3 賞与引当金の増減(△)額	81,180
4 退職給付引当金の増減(△)額	8,545
5 役員退職慰労引当金の増減(△)額	2,400
6 受取利息及び受取配当金	0
7 支払利息	11,992
8 固定資産除却損	23,072
9 売上債権の増(△)減額	△ 52,607
10 たな卸資産の増(△)減額	△ 2,965
11 仕入債務の増減(△)額	13,050
12 未払金の増減(△)額	1,896
13 その他	25,585
小 計	186,795
18 利息及び配当金の受取額	0
19 利息の支払額	△ 12,151
20 法人税等の支払額	△ 21,470
営業活動によるキャッシュ・フロー	153,175
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
21 有形固定資産の取得による支出	△ 149,242
22 投資有価証券の取得による支出	△ 14,779
23 差入保証金の差入による支出	△ 7,268
24 差入保証金の返還による収入	646
25 その他	△ 6,454
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 177,100
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
26 短期借入金の純増減(△)額	140,000
27 長期借入金の返済による支出	△ 115,625
28 自己株式の取得による支出	△ 14
29 配当金の支払額	△ 47,028
30 その他	△ 2,184
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 24,852
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	—
V 現金及び現金同等物の増減(△)額	△ 48,777
VI 現金及び現金同等物の期首残高	549,797
VII 現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	501,019